

## 知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報

2006年は、ビーチランド周辺で4例のアカウミガメの産卵が確認されました(図-1)。うち1例は、幡豆郡吉良町蛭子海岸で、南知多ビーチランドが調査を始めた1980年以降、三河湾内での産卵例として2回目、湾内本土での産卵例としては初記録となりました。

〔図-1〕産卵地点



また、若松海岸では、孵化したての赤ちゃんガメを付近の方が見つけられ、その通報で調査をして初めて産卵に気づきました(写真-1)。この記事は中日新聞にも掲載されましたが、広い範囲に産卵海岸が点在する知多半島では、すべての産卵を把握するのはなかなか難しいものがあります。

〔写真-1〕赤ちゃんガメ



一方、死んで海岸に打ち上がったウミガメは3頭(図-2)で、すべてアカウミガメでした(写真-2)

〔写真-2〕富具崎海岸



うち1頭は、甲らに何本もの裂傷(写真-3)があり、何らかの事故にあった可能性も否定できません。

〔図-2〕死亡漂着地点



〔写真-3〕富具崎海岸



また、南知多町内海の千鳥ヶ浜では、死体を発見された方が日本ウミガメ協議会(NPO法人:大阪府枚方市)に通報し、そちらからの連絡で記録されました(写真-4)。産卵記録と同様に、南知多ビーチランドでは知多半島に死亡漂着したウミガメ類の調査も行っています。死体でも構いませんので、発見された方は是非ご一報下さい。もちろん、「足跡を発見した」という情報でも大歓迎です。引き続き、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

〔写真-4〕 千鳥ヶ浜

